

## ■平成 14 年度第 1 回大台ヶ原ニホンジカ保護管理検討会

- ◆日 時 平成 14 年 8 月 1 日 (木) 13:30~15:40
- ◆場 所 奈良市法蓮町 春日野荘 「天平の間」
- ◆議 題 大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画について
- ◆出席者名 検討委員 / 5 名のうち 4 名が出席  
関係機関 / 7 団体のうち 4 団体が出席  
環境省 / 吉井近畿地区自然保護事務所長 他  
(一般者および報道機関 16 名が傍聴)

### ◆議事要旨

環境省自然環境局近畿地区自然保護事務所長による挨拶の後、環境省自然環境局国立公園課から「大型野生獣との共生推進事業」について、環境省近畿地区自然保護事務所から「大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画」についての報告が行われた。その後、事務局より「大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画」を実施するための個体数調整および捕獲作業に関して配布資料に沿って事務局が説明を行い、意見交換を行った。

#### (1) 個体数調整

事務局： 捕獲にはワナとして、アルパインキャプチャーを用いる。捕獲を成功させるためには、シカをワナに馴れさせ、いかにワナの中に誘き寄せるかが重要である。ワナの設置場所は、「大台ヶ原ニホンジカ保護管理計画」に基づいて緊急対策地区とし、時期は 8 月から 11 月の間に 2~3 回行う予定である。また、アルパインキャプチャーによる捕獲はメスに偏る傾向があるので、オスを効率よく捕獲するためには、麻酔銃との併用も検討する。モニタリング調査のため、①外部計測、②年齢査定、③食性分析、④栄養状態分析 (腎脂肪)、⑤遺伝学的分析 (組織切片)、⑥繁殖状況調査 (メスの妊娠率) を行う。

委員： 使用するワナは日本製か。また、日本の他の地域での使用例はあるのか。また、捕獲実績はどうか。

事務局： ワナはニュージーランド製である。このワナは、北海道の洞爺湖や東北地方などでも使用されている。洞爺湖の例では 59 日間で 49 回作動させ、143 頭を捕獲した実績がある (平均捕獲効率は 2.9 頭)。

委員： ワナに入った後の作業はどのようにするのか。

事務局： 麻酔銃もしくは吹き矢を用いてシカを眠らせてから安楽死させる。

委員： 捕獲個体の分析は、将来のモニタリングに関して非常に重要である。特に栄養状態と妊娠率について、このモニタリング調査により調べていただければと思う。

委員： 近隣のシカとの比較は重要であり、奈良や三重の捕獲個体の分析状況はどのよ

うになっているのか。また比較できるデータはあるのか。

関係機関： 三重県では、平成 10～12 年度に得られたデータがある。また、今年度の猟期から三重県の南半分でメスジカの狩猟を解禁することとしており、捕獲個体の年齢調査や生息密度調査及び胃内容物分析等を実施する予定である。

関係機関： 奈良県では、平成 10～11 年度にシカの生息調査を実施しており、年齢構成や胃内容物分析は行っている。

委員： 大台ヶ原地区の狭い地域だけを調査するのではなく、奈良県と三重県とのデータを比較すべきではないか。

## (2) 捕獲作業

委員： ワナの高さは 2.5m とのことだが、シカが飛び越えることはないのか。

事務局： ワナは幕で外側が見えないため、飛び越えることは少ないと思う。実際に使用しながら少しずつ改良していく。

委員： ワナには 20kg の重りが固定されており大変危険であり、慎重に実施してほしい。

委員： ワナの安全対策はどのようになっているのか。

事務局： 捕獲は立入禁止区域で実施する予定である。ワナ周辺の 3ヶ所に、危険の看板を設置する。作業員がいないときには重りはずし、また作業中も落下防止の安全ピンを用い、安全には二重三重の対策をとっている。

関係機関： NPO や NGO が捕獲から安楽死までの作業を見たいと言っているのだが、見学は可能か。

事務局： 捕獲作業については、非公開で行いたい。理由は、シカは神経質でワナに近づかなくなることと、人の立ち入りによる植生の踏み荒らしの問題、重りが 20kg あり大変危険であることである。

委員： 45 頭の捕獲が目標であり、危険性があることから捕獲作業は非公開にせざるを得ないと思っている。しかし、結果は必ず公表すべきである。

事務局： 捕獲については、環境省が本年度事業終了後その結果を公表する。

## (3) その他の意見

委員： ラス巻きと防鹿柵について簡単に説明してほしい。

環境省： 今年度はラス巻きを約 3,000 本、ビジターセンター近くのトウヒ林を中心に巻く予定である。防鹿柵は延長 3km、9ha 程度をビジターセンターから中道の間で予定している。

## (4) 今後の予定

事務局： 第一回の捕獲作業を踏まえ、次回の検討会を開催する予定。